

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2021年(令和3年)

6月4日

金曜日
月4回金曜日発行

関東

農福連携で山梨県

ガイドブックとロゴマーク作成

【山梨】障がい者施設を利用する方が農業者の圃場で作業をしたり、障がい者施設自らが主体的に農業に取り組む農福連携。山梨県では農福連携ガイドブックを作成し、取り組みを進めている。

ガイドブックでは、農福連携を始める前のポイントや、農作業の依頼から作業終了までの各段階の具体的な注意点が示されている。他に、実際に作業を委託し

た農業者のインタビューも盛り込まれており、「丁寧にしっかりとした仕事ぶりに感謝している。別の作業も委託したい」など、農福連携を検討している農業者を後押しするコメントも掲載されている。

山梨県での農福連携は2016年から始まり、18年4月には県内に「山梨県農福連携推進センター」を設置した。業務内容は農業者と障がい者施設とのマッチング、障がい者施設の農業参入や6次産業化商品の開発支援などだ。また、農福連携で生産された農産物や加工品などをPRするため、やまなし農福連携ロゴマークを作成し、ブランド化を推進している。

農地利用最適化での最大の課題は担い手の不足といわれているが、農福連携が課題解決の一つの鍵になりそうだ。

農福連携
Noufuku Renkei Guidebook
ガイドブック

令和3年3月改訂

山梨県



ガイドブックとロゴマーク